

## 新年のご挨拶



自衛隊愛媛地方協力本部長  
一等陸佐 川内 康孝



愛媛県自衛隊協力諸団体の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は愛媛地方協力本部に対し格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、長い間猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症は、昨年夏過ぎによりやく落ち着きを見せ始め、それに伴い全国的な活動自粛が徐々に解かれ、各種イベント、行事、説明会等の各種活動が本格的に再開されてきたところでもあります。しかしながら活動の再開は必ずしも順風満帆ではありません。約3年間、活動に制限があった影響は大きく、募集活動が満足にできなかったばかりか、自衛隊そのものの認知度の低下を招いてしまいました。加えて募集適齢人口の減少等様々な要因により、令和4年度の募集は大変苦しい状況にあり、例年以上に創意を凝らして募集に取り組んでいるところです。

このような中、協力諸団体の皆様の県内各所でのご支援、ご協力は、隊員募集や就職援助の各種業務に直結するものであり大変重要なものであると認識しております。我々が活動できるのは皆様のご苦勞の賜物であり、この場をお借りして重ねて御礼申し上げます。本年も愛媛地方協力本部は、自衛隊員と愛媛県民の架け橋として、より一層、自衛隊の人的基盤の充実発展や退職後の隊員の進路に寄与していく所存でありますので、引き続きのご支援をお願いいたします。

最後に、皆様のご家族共々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 中部方面総監の初度視察

令和4年12月8日(木)、本部において中部方面総監 堀井陸将の初度視察を受けました。



懇談の様子

堀井総監は、本部長をはじめ、副本部長、各課長による出迎えの中、地本に到着され、引き続き正面玄関で記念撮影を行いました。状況報告では、愛媛県を取り巻く環境や愛媛地本の業務遂行状況等について本部長より報告し、愛媛県及び愛媛地本の現状を把握されました。庁内巡視においては、屋上より本部庁舎移転に関する状況等を確認され、本部内各課で各課員に声を掛け、日頃の労をねぎらわれるとともに、要望について聴取されました。

堀井総監は、訓示において組織的募集における学校との更なる連携の深化、援護業務における経済動向を踏まえた新規の企業開拓等に言及されるとともに、「地本部員は自らの姿をもって、将来の姿を若者に示せ」と述べられ、部員に一層の奮起を促されました。

堀井総監の心温まる激励に部員の士気も上がり、引き続き一致団結し、任務完了に邁進することを誓い合いました。

## みなとフェスティバル100 in 今治

令和4年10月15日(土)及び16日(日)、今治港みなと交流センター「はーばりー」において、みなとフェスティバル100が開催され、ブルーインパルスの展示飛行に合わせ航空自衛隊西部航空方面隊、海上自衛隊呉地方総監部及び陸上自衛隊松山駐屯地の協力を得て広報ブースを出展しました。



ブルーインパルスの展示飛行 with 今治城

本フェスティバルは、今治港開港100周年を記念するとともに、新たな100年の門出を祝うために開催され、会場周辺は2日間で約25万人もの人出で大変盛り上がりしました。まず初日、時間の変更はありましたが、雲のほとんどない真つ青な空にブルーインパルスが華麗かつ雄大な飛行をすると思わず歓声が漏れてしまうほどその場の雰囲気は大きな感動と歓喜に包まれました。

また、2日間にわたり西部航空方面隊・松山駐屯地から支援を受けた自衛隊車両の展示やVR体験、呉地方総監部のマスコットの登場をはじめ陸上・海上・航空各自衛隊の様々な展示や体験ができるよう出展した自衛隊広報ブースも、それぞれ長い行列ができるほど大いに賑わいました。

今回、本フェスティバルを通じて、多くの市民・県民の皆様が自衛隊・自衛官を身近に感じてもらえることができたように思います。今後も自衛隊がさらに身近な存在になれるよう、様々な所で皆様の心に残るイベントを開催していきます。

## 呉地方総監の激励

令和4年11月30日(水)、本部において海上自衛隊呉地方総監 伊藤海将による地本激励訪問を受けました。



激励の様子

伊藤海将は、本部長をはじめ、副本部長、各課長による出迎えの中、本部庁舎に到着され、懇談後、状況説明を受けられました。状況説明においては、愛媛県及び愛媛地本の概要を把握されるとともに、募集・援護各業務遂行状況等について確認されました。

また、各課激励においては、各課員に気さくに声を掛けられるとともに、落成予定の本部新庁舎の説明を受けられた際には、本部への祝意を伝えられました。

その後、海上自衛隊隊員7名との懇談では、平素の勤務の状況や、募集広報等の海上自衛隊がさらに力を入れるべき取り組み等について、忌憚のない意見を求められ、活発な意見交換となりました。

伊藤海将の温かい激励により、本部は募集難の波を乗り越える気概を新たにしました。

## 令和4年度本部長感謝状贈呈式

令和4年11月22日(火)、本部において日頃から愛媛地方協力本部の任務遂行に多大な貢献をされている方々に対し、感謝状を贈呈しました。



※写真撮影時のみマスクを外しています

当日参加された贈呈者との記念撮影

今回は協力団体の方をはじめ、退職自衛官の雇用にご協力頂いた企業主様、自衛官募集にご協力頂いた大学等、個人3名・6団体が授与し、贈呈式当日は個人3名・2団体の方にご参加頂きました。

本部長は感謝状を贈呈するにあたり、お一人ずつの功績を称え、その後、防衛省・自衛隊に対するご理解と愛媛地本への協力に対し、深い感謝の言葉を述べました。

ご協力頂いている皆様との信頼・協力関係の強化を図り、任務遂行に邁進してまいりますので、今後ともよろしくご協力をお願いします。

# 就職援護広報

令和4年11月28日(月)及び29日(火)の2日間で援護協力企業及び自治体を自衛隊の基地見学へ招へいし、退職自衛官の雇用への理解促進と関係強化を図るために、就職援護広報を開催しました。

11月28日(月)は、呉地方総監部に依頼し、海上自衛隊の昼食を体験した後、潜水艦教育訓練隊及び第1訓練潜水隊において潜水艦隊の歴史や潜水艦乗組員の養成について学び、「おやしお」艦内を見学しました。研修中、参加者から多くの質問があり、その中でも、特殊な環境で勤務する乗組員に感嘆するとともに、2020年から女性隊員15名以上がすでに潜水艦での過酷な勤務を開始していると聞き驚いている様子でした。



潜水艦教育訓練隊研修にて

2日目となる11月29日(火)は、陸上自衛隊海田市駐屯地において、特別な展示だけではなく、普段の訓練や生活が見える研修内容を要望しました。第46普通科連隊が実施中の格闘訓練、

第13後方支援隊の整備庫では車両整備や幌の補修作業等を研修しました。第13施設隊では、装備品の説明を受けるとともに、陸士隊員との対話の機会もあり、参加者はとても満足した様子でした。食事後は、第13音楽隊の訓練を研修しました。普段、ホール等では完成した音楽を聴いていましたが、その陰で一つ一つの細かな音や、音に込めるエネルギー等細部にこだわって、真摯に訓練に向き合う隊員の姿と音の迫力が印象的でした。

一言で自衛官と言っても一人ひとり様々な経験とスキルを持っています。また、企業が求める人材も企業ごとに異なります。就職援護広報を通じて、直接隊員を見て、話を聞くことにより、企業側の疑問を1つでも解消することができそうです。それは、隊員の再就職に対する安心だけでなく、企業からの信頼を得るとともに、企業にとっても隊員を採用する際の安心にも繋がるものと考えています。

若年定年等退職隊員が新しい生活をスタートできるよう、全力でお手伝いします。

# 予備自衛官訓練

令和4年12月9日(金)から13日(火)までの間、松山駐屯地において実施された予備自衛官招集訓練を支援しました。

訓練は、中部方面特科隊が担任し、78名の予備自衛官が出頭し、寒い中ではありましたが、精神教育、救急法、体力検定、射撃検定等各種訓練に熱心に取り組んでいました。

10日(土)には、永年勤続者に対する表彰式を実施しました。副本部長から受賞者には表彰状が授与(伝達)され、永年により勤務と訓練の両立を図り、出頭を継続してきた労をねぎらいました。

また11月6日(日)、善通寺駐屯地において第4期公募予備自衛官特取得教育訓練の開始式が行われました。



公募予備自衛官特技取得教育訓練の様子

教育訓練は、自衛官経験がない一般公募予備自衛官のうち即応予備自衛官への任用を志願する者に対し、約40日間の所定の教育訓練が行われ、基本特技を修得した者が即応予備自衛官として任用されるものです。この訓練は、第47普通科連隊が担任し、開始式には2名が参加し、その後各種教育が実施されました。参加者はやや緊張しつつも真剣に臨み、即応予備自衛官になるためのスタートを切りました。参加者からは「仕事と訓練の両立になるが、早く基本特技取得訓練を修了し、即応予備自衛官として活躍したい。」との声が聞かれました。

即応予備自衛官に任用されるために、今後実施される特技取得教育訓練の参加意欲の向上や身上(心情)把握を行うなど予備自衛官の訓練を積極的にサポートしていきます。

# 第13回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in八幡浜

令和4年11月12日(土)及び13日(日)に道の駅・みなとオアシス「八幡浜みなと」で開催された「第13回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in八幡浜」において広報活動を行い、述べ約3000名の方にご来場いただきました。



当日の艦艇広報の様子

メイン会場では、第14音楽隊による音楽演奏(12日)で来場者の皆様に素晴らしい音色をお届けする事が出来ました。また広報ブースでは、海上自衛隊呉警備隊YD104の一般公開、中部方面特科隊FH70の装備品展示に加え、VRゴーグル体験、ミニ制服試着等をご来場された皆様に体験していただきました。

今後多くの県民の皆様に自衛隊への関心をもっていただけるように、各種イベントを通じて自衛隊の魅力をお伝えし、県民と自衛隊の架け橋になっていきたいと思っております。

# 松山駐屯地創立67周年記念行事

令和4年10月23日(日)に陸上自衛隊松山駐屯地で「松山駐屯地創立67周年記念行事」が行われました。



愛媛地方協力本部ブースの様子

約3000名の方々が来場した記念行事は、松山駐屯地所属部隊の整齊とした観閲式から始まり、第14音楽隊による心弾む素晴らしい音楽演奏、第110教育大隊の新隊員による元気凛々な自衛隊体操、第14飛行隊のUH-1による航空偵察、高射特科隊の短SAM及び近SAMによる対空戦闘、特科隊のFH70及び第15即応機動連隊のMCVによる空包射撃を伴った迫力の模擬戦が行われました。

また、精強強靱な隊員による格闘ショー、車両体験搭乗、各種装備品展示及びサイババル体験等数多くのイベントも行われました。愛媛地方協力本部のブースでは、VRゴーグル体験及びミニ制服試着等をお楽しみ頂きました。

今後より多くの県民の皆様に、自衛隊に対する理解を深めて頂けるように努力をしたいと思います。

# 体験搭乗

令和4年12月3日(土)松山市にある小野演習場において、愛媛県の募集対象者及び自衛隊協力者40名に対し、UH-1ヘリコプターによる体験搭乗を実施しました。



記念撮影

天候にも恵まれ、安全教育、機体見学及び記念撮影を実施した後、8個グループに分かれて約15分の松山上空のフライトを体験しました。搭乗後参加者からは「搭乗すると機内は意外に静かでした。」「飛行中もあまり揺れを感じることがありませんでした。」「等の感想を頂きました。また、体験搭乗終了後には、熱心にパイロットに質問をする方がおられ、自衛隊のパイロットになりたいと言う感想も頂きました。

今後各部隊の協力を得て、自衛隊について地域住民の方々により知ってもらえるように、募集・広報活動を継続していきます。

## ★採用試験情報★

採用種目	受付期間	試験日	応募資格
自衛官候補生 男女	【第9回〆切】 1月19日(木)	1月23日(月) ～25日(水)	18歳以上33歳未満の者
	【第10回〆切】 2月2日(木)	2月6日(月) ～8日(水)	
	【第11回〆切】 2月22日(水)	2月27日(月) ～3月1日(水)	

# 昇任 人事

◆募集課  
陸曹長 岩崎 文彦

◆新居浜出張所  
1等陸曹 高橋 直哉

◆松山募集案内所  
2等陸曹 畠中 祐

(以上1月1日付)

おめでとうございます!



本年も「愛媛地本」を  
よろしくお願  
いしますピチッ!

